

# Noises, Crowds, and Silent Airs

Yamagami Yukihiro  
ヤマガミユキヒロ

2015年5月16日(土)～5月31日(日) 11:00～19:00  
月曜日休廊・金曜日のみ20:00まで・最終日のみ18:00まで

Gallery PARC

## 展示作品

### 01. Sheltering Sky(study)

紙に写真, アクリル 2009

\*渋谷に取材した(Sheltering Sky)の習作。

### 02. Location Hunting (video)

video 2015

\*各地を取材するにあたり撮影していたロケの様子を編集した映像資料。

### 03.05. (study)

紙に写真, アクリル 2009

\*京都タワーを取材した習作。無人の街の状態を写真を張り合わせてつくり出している。

### 04. Location Hunting

### 06. Sleep Walking

### 07. SAKURA Scape

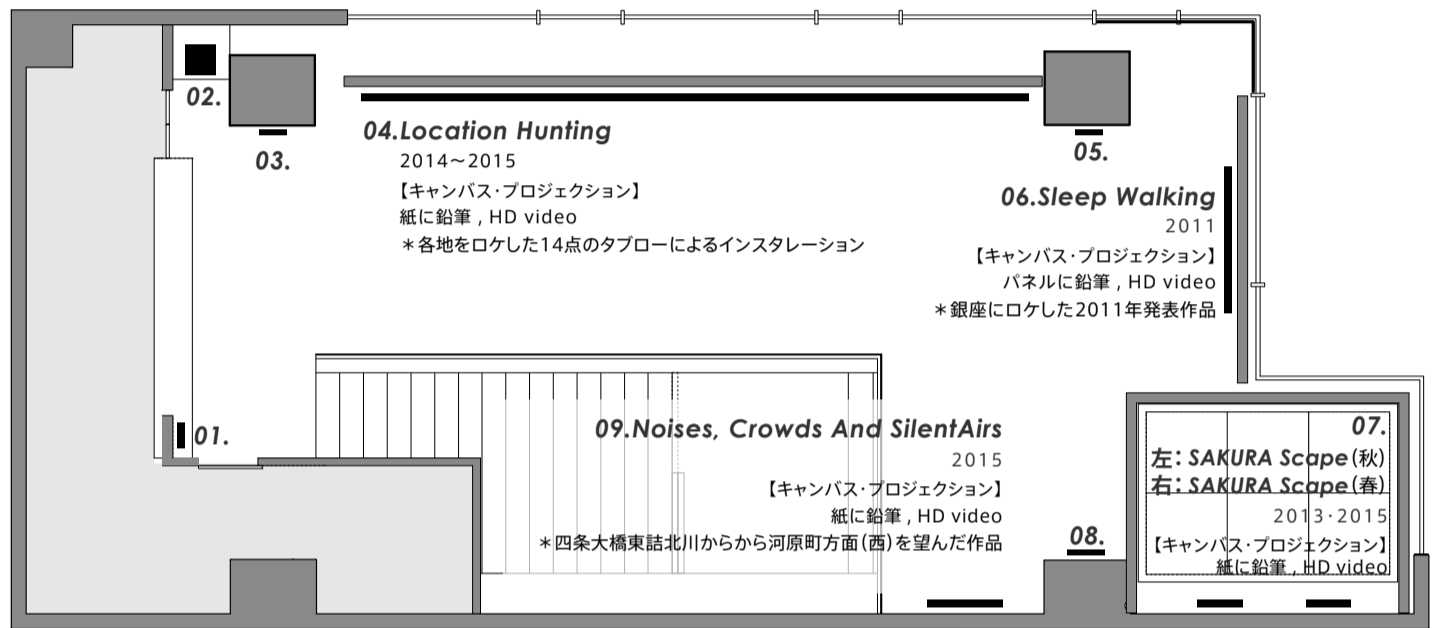
\*京都・深泥池に咲く桜を取材した作品。正面右は2013年春、正面左は2014年秋の様子を描画・撮影したもの。

### 08. Noises, Crowds And SilentAirs (study)

紙に写真, アクリル 2009

\*【canvas projection】の原型ともいえる習作のひとつ。四条大橋南西から見た風景に、トレーシングペーパーに描かれた人や車といった「都市の要素」が重ねられている。

### 09. Noises, Crowds And SilentAirs



## 04. Location Hunting

### -01 東京タワー

### -02 渋谷ハチ公前

\*2011年にGallery PARCで発表した《Sheltering Sky》のためのドローイング

### -03 東京駅・山手線ホーム

\*2012年『始発電車を待ちながら』(東京ステーションギャラリー)での発表に向けたロケ地のひとつ

### -04 浅草寺・雷門

### -05 新宿大ガード西交差点

\*2014年『窓の外、恋の旅。／風景と表現』(芦屋市立美術館)で発表した《新宿コーリング》のためのドローイング

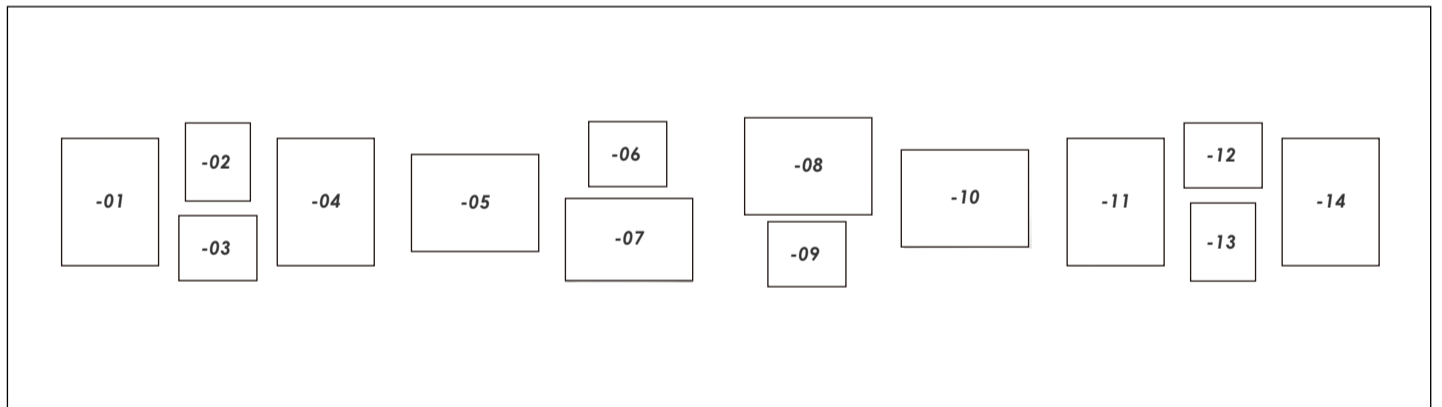
### -06 京都駅中央口

### -07 東京駅中央コンコース

\*2012年『始発電車を待ちながら』(東京ステーションギャラリー)で発表した《little trip》のためのドローイング

### -08 新宿アルタ前

\*2014年「TARO賞の作家II」(川崎市岡本太郎美術館)で発表した《都市の印象》のためのドローイング。尚、《都市の印象》は現在愛妻中の「テンプス・フーゲットー 大山崎山荘とヤマガミユキヒロの視点」(大山崎山荘美術館)に展示中。



### -09 貴船神社

\*2014年にGallery PARCで開催・発表した《mononoke step》のためのドローイング

### -10 南海なんば駅前

\*2014年『窓の外、恋の旅。／風景と表現』(芦屋市立美術館)での発表に向けたロケ地のひとつ

### -11 大丸神戸店

\*2014年『窓の外、恋の旅。／風景と表現』(芦屋市立美術館)での発表に向けたロケ地のひとつ

### -12 鴨川

\*本展出品作《Noises, Crowds And SilentAirs》のためのドローイング

### -13 芦屋公園

\*2014年『窓の外、恋の旅。／風景と表現』(芦屋市立美術館)での発表に向けたロケ地のひとつ

### -14 京都タワー

## Statement

時間とともに移ろい過ぎっていく目の前の風景を写真やビデオでスケッチしてみると、普段見落としていた景色と出会います。これは非現実的な一コマではなく、紛れもなく現実の風景です。サンプリングされた景色の断片の中には、驚くような美しい表情や、神秘的な表情、ぞっとするような瞬間があります。その中で出会う興味深い瞬間を、僕は掬い上げて、物語のための物語を組み立てていきます。その物語にははじまりと終わり無く、脚本もストーリーありません。そこにあるのは、ある瞬間に訪れた風景の断片だけなのです。それらが重なり合い混ざり合って再び繋がった物語は、ノンフィクションを内包したフィクションなのです。そしてその物語は鑑賞時に記憶や想像の追記がされ、物語のための物語から、ある物語へと、完成していくのです。

僕の作品の多くは、油彩やアクリル、鉛筆などで描画した絵画にレイヤーを重ねるように、プロジェクターによって同一視点の映像を投影した「キャンバス・プロジェクション」という独自の手法のものです。絵具や鉛筆で常にそこにあるものを描き、プロジェクターの映像に、光や時間を描いてもらうというものです。

風景は時間と共に表情を変えていきます。日の出から日没まで刻々と表情を変える空や、時間と共に移ろいで行く人々などの、常に変化するものや、ネオンやライトなどの光そのものは1枚の絵画で表現することは不可能です。しかしプロジェクターを使用すれば絵画に時間や動きや光そのものを描画することが出来るのです。ある風景の印象を描くには、常にそこにあるものと、時間と共に変化するものとの描写が非常に重要なのです。

ヤマガミユキヒロ

2000年に京都精華大学美術学部を卒業したヤマガミユキヒロ(1976年・大阪府生まれ)は、おもに鉛筆による精密な風景画(絵画)と、同一地点から撮影した映像をキャンバス上で重ね合わせる「キャンバス・プロジェクション」という独自の手法による作品を制作・発表しています。

ヤマガミによる「キャンバス・プロジェクション」とは、綿密なロケハンにより選り出した視点から見える風景の中から、うつろうことない建築や構造物をパネルに鉛筆で丹念に描画し、そのモノクロの風景画には、同一の視点(地点)から時間や季節を跨いで何度もロケを重ねた映像をプロジェクター投影するもので、これにより、一瞬をとどめたモノクロの絵画には、映像による光や色彩、うつろいが投影され、画面上には時間が流れはじめます。また、たとえば「無人の渋谷ハチ公前」を映像で撮影することは困難ですが、絵画ではその光景を描き出すことができます。絵画ではその風景にあった刻々と変化する時間のすべてを描き出すことは困難ですが、映像はそこに少なからず迫ることができます。風景を絵画と映像に分解し、それぞれの特性を際立たせた後に再び画面上で解け合うこの方法は、いわばそれぞれのメディアの特性を膨大な作業量(鉛筆による細密描画と入念な映像撮影・編集)により融合させているといえます。

本展タイトルである「Noises, Crowds, and Silent Airs」は、京都の四条大橋東詰から西を望んだ作品【09.】のタイトルに由来しますが、同時に2003年に同じく四条大橋に取材し、キャンバス・プロジェクションの手法を構想するきっかけとなった作品【08.】タイトルと同様のものでもあります。当初は「街のうつろいを如何に描き出すか」のために、都市空間の絵にトレーシングペーパーに描いた人物などを構成していた試行錯誤は、絵画とプロジェクターによる映像投影へと展開し、その取り組みは2008年に「第11回 岡本太郎現代芸術賞展」(川崎市岡本太郎美術館)において特別賞を受賞するなど高い評価を受けることとなりました。以後も「始発電車を待ちながら」(2012年・東京ステーションギャラリー)、「re:framing-表情の空間-」(2013年・京都芸術センター)、「窓の外、恋の旅。／風景と表現」(2014年・芦屋市立美術館)、「TARO賞の作家II」(2014年・川崎市岡本太郎美術館)、現在開催中の「テンプス・フーゲットー 大山崎山荘とヤマガミユキヒロの視点」(大山崎山荘美術館)などの発表の機会ごとに、訪れた先々で数多くのロケハンをおこない、対象となる風景を選り出し、綿密なロケと映像編集などにより作品を制作・発表しています。

本展は、この同名作品の最新作をはじめ、各地でロケをおこなう中で制作したタブローによるキャンバス・プロジェクション作品およそ14点を一堂に展覧するなど、近年のヤマガミの活動にともなうロードムービー的な側面を持ったスピノフ作品の展示であるとともに、京都・大阪・神戸・東京などに取材し、それぞれの場に存在するうつろいが描き出された作品を「都市・風景・物語」の断片として集積したものです。

## C V

## ヤマガミユキヒロ

<http://www.yamagamiyukihiro.net/>

1976年大阪府生まれ。2000年京都精華大学美術学部卒業。京都市在住

### 個展

- 2013 little trip / Gallery PARC, 京都
- 2011 Sheltering Sky / Gallery PARC, 京都
- 2010 Sampling Your Memory / Gallery PARC, 京都
- SleepWalking / neutron tokyo, 東京
- 2009 Synchronicity / neutron kyoto, 京都
- 2007 LightScape / neutron kyoto, 京都
- 2005 NightWatch / gallery SOWAKA, 京都
- 2004 The Disorderly Space / neutron B1 gallery, 京都
- 2003 Noises, Crowds And SilentAirs / neutron B1 gallery, 京都
- Nonfictional Fiction / gallery coco, 京都
- 2001 都市の印象 / gallery DEN, 大阪
- 都市の印象 / Gusto House, 神戸
- 都市の印象 / gallery coco, 京都
- 1999 存在の表現 / gallery coco, 京都

### コラボレーションワーク

- 2014 林宗一郎×ヤマガミユキヒロ:Noh Play / Gallery PARC, 京都

### 主なグループ展

- 2014 Media Butterfly / 香蘭社赤絵町工房, 佐賀
- TARO賞の作家II / 川崎市岡本太郎美術館
- 窓の外、恋の旅。／風景と表現 / 芦屋市立美術館
- あさごの森で光と影のピクニック / あさご芸術の森美術館, 兵庫
- 伝統芸能パラエティボックス / 京都芸術センター
- 2013 六甲ミーツ・アート芸術散歩2013 / 六甲山, 兵庫
- すみだ川アートプロジェクト2013 / アサヒアートスクエア, 東京
- re:framing-表情の空間- / 京都芸術センター
- 2012 始発電車を待ちながら / 東京ステーションギャラリー
- 2011 multiple / プリンツ, 京都
- 2010 not easily seen / 此花メデア, 大阪
- TASTING ART EXHIBITION / 阪急メンズ館, 大阪
- 2009 Mirage / 同志社大学京田辺キャンパス, 京都
- Art Osaka 2009 / 堂島ホテル, 大阪
- 2008 TSCAコレクション展 / Takuro Someya Contemporary Art, 千葉

- 2008 第11回 岡本太郎現代芸術賞展 / 川崎市岡本太郎美術館
- 2007 Koshinaka Masahito + Yamagami Yukihiro / Café le baobab, 京都
- 2005 新鋭選抜展2005 / 京都市文化博物館
- 2004 Human Notation / gallery coco, 京都
- 2003 Art Court Frontier 2003 / Art Court Gallery, 大阪
- 2003 neutron B1 gallery, 京都
- 2002 neutron gallery, 京都
- 2002 gallery coco, 京都
- 2001 Mio 写真奨励賞 新作発表展 / 天王寺Mio, 大阪
- 2000 SYSTEM 2000 / gallery 射手座, 京都
- 2000 Mio 写真奨励賞2000 / 天王寺Mio, 大阪
- 1998 gallery coco, 京都
- 賞歴
- 2008 第11回 岡本太郎現代芸術賞展 特別賞
- 2000 Mio 写真奨励賞2000 優秀賞